

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月25日

施設名	高知県立県民文化ホール	所管課名	文化生活部 文化・国際課
-----	-------------	------	-----------------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県文化財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知市本町		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><建物>延べ床面積:11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階 <土地> 5,288.15㎡ <主要施設> 大ホール(1504席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など <開館時間>午前9時～午後10時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定</p>		
職員体制	常勤職員: 6人 契約職員: 3人 合計: 9人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	平成21年度(予算)
収入	県支出金	117,244	101,801	122,747
	事業収入	98,684	98,699	83,378
	その他	1,624	1,611	2,036
	収入計	217,552	202,111	208,161
支出	事業費	8,248	6,992	9,282
	管理運営費	201,466	192,153	198,879
	(うち人件費)	(51,228)	(54,272)	(49,537)
	その他	7,967	2,966	0
	支出計	217,681	202,111	208,161

3 利用状況

	平成19年度実績	平成20年度実績	前年度比
①年間利用者数(単位:人)	大ホール入場者数 213,320人	199,200人	-14,120人
	小ホール入場者数 50,433人	56,305人	5,872人
	合計 263,753人	255,505人	-8,248人
	<p><利用実績>景気の悪化など非常に厳しい経済状況もあり対前年度比3.1%減となった。しかし、グリーンホール及び多目的室の利用は伸びており、利用者の立場に立ったサービスの提供や、利用拡大に向けての積極的なPR活動の成果が出ている。特に多目的室の利用はリピーターの定着が見られ、19年度の624件から246件増加した870件の利用があり39.4%の増となった。</p>		
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>・オレンジホール及びグリーンホールのロビーにそれぞれ「ご意見箱」を設置し、利用者の意見を広く収集している。寄せられた意見に対し、すぐに対応できるものから改善のための対策を行っている。</p>		
	<p>○ その他</p> <p>・利用者による運営協議会(年2回)や県内のホール担当者による文化施設協議会(年3回)で文化ホールに対するニーズを把握して、要望については検討のうえ対応している。 ・消防訓練で消防車職員から助言のあった担架について、オレンジホール、グリーンホール、事務棟に1台ずつ配置し、緊急時には誰もが使用できるように整備をおこなった。</p>		

③その他特記事項	貸館の外、他ホールや学生に対する技術支援を実施。 ・技術職員派遣研修 室戸市保健福祉センター6回 香美市立野市中央公民館10回 院内コンサート1回 ・県民文化ホールでの技術研修6回(内、四国地区の技術研修1回) ・高校演劇支援4回
----------	---

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①管理運営に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備の管理は一定の水準に達している。 ・職員が工夫し、大規模改修前にメンテナンス出費をできるだけ抑制するとともに、老朽化した建物設備等の効率的な管理に努めている。 ・安心して利用できる施設として評価できる。職員の向上心と実績、技術の蓄積を評価したい。 ・収入増加や経費削減の取り組みが、ともに効果をあげている。
②事業の実施(企画及び運営)に関する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと職員の持つ専門知識を利用者に知ってもらおう努力をする必要がある。 ・今後も、高校生の舞台技術講習会や若手音楽家への支援を望む。 ・これからの課題として、より高い次元の自主事業も望みたい。 ・技術研修等で県内施設をリードしている。他県にない舞台技術の具体的活動は評価すべきと思う。 ・事業を通じた創造活動・文化振興の支援への努力はみえるが、まだ可能性は残っていると思うので、更なる展開を望む。課題として、県民参加の活動への今後の取り組みを期待する。
③総体的な評価	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンホール、多目的室は利用者数が増となっており、不況の中、全体としても利用率はさほど減っていないことは評価できる。 ・貸館事業は、主催者の信頼を得て、安全面も一定確保されており、過去31年間の実績を高く評価したい。 ・ネットワーク事業はすばらしい。自主文化事業も一定の成果が認められるが、文化振興への積極的な取り組みを期待したい。 ・建築設備の制約等、指定管理者の努力が活かせない部分はあるが、21年度も更なる努力を望む。
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内随一のホールとして舞台文化をリードしている。 ・施設の老朽化を補う努力を評価したい。 ・同規模ホールの料金と比較して、グリーンホールの利用料金の見直しの検討が必要。より使い易く、県民に愛されるホール運営を望む。引き続き、次世代育成にも努めていただきたい。 ・立地条件は良いが駐車場がないために、必ずしも使い易く、利用しやすい施設ではない。その中で職員が運営に努力している。周辺駐車場との契約(割引サービス)など、利用者の駐車場の確保の検討をしてほしい。 ・可能な範囲で、又、限られた人員、財政の中での努力を評価し、尚一層の向上を期待したい。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※評価項目ごとの評価内容

評価項目	評価	特記事項
1 管理運営の基本方針(総括)	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆グリーンホールは利用者数が増えたとおり、不況の中、全体としても利用率はさほど減っていないことは評価できる。 ◆貸館事業は、主催者の信頼を得て、安全面も一定確保されており、過去31年間の実績を高く評価したい。 ◆ネットワーク事業はすばらしい。 ◆自主文化事業も一定の成果が認められるが、文化振興への積極的な取り組みを期待したい。 ◆建築設備の制約等、指定管理者の努力が活かせない部分はあるが、21年度も更なる努力を望む。
① 平成20年度の県民文化ホールの管理運営(事業)にあたって、どのような方針を立て、どう結果をだしたか。		
② 平成19年度事業評価の結果を踏まえ、どのように取組んできたか。		
2 事業を通じて県民の創造活動の支援、文化振興への寄与ができたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆もっと職員の持つ専門知識を利用者に知ってもらおう努力をする必要がある。 ◆今後も、高校生の舞台技術講習会や若手音楽家への支援を望む。
(1)貸館事業の実施		
① ホール及び多目的室の利用状況	A	・多目的室の利用が増えており評価できる。
② 貸館事業についての特記事項		
(2)企画事業の実施		
① 企画事業の実施回数、内容、集客目標と入場者数等の状況	B	・これからの課題として、より高い次元の自主事業も望みたい。
② 企画事業についての特記事項		
(3)教育普及と事業その他の事業		
① 県内の文化施設を牽引する取組	A	<ul style="list-style-type: none"> ・技術研修等で県内施設をリードしている。 ・高等学校演劇部夏期合同研修会が高校生に好評である。 ・全国大会に出場した高校生の事前練習にもホールを提供した実績があり評価できる。 ・他県にない舞台技術の具体的活動は評価すべきと思う。
② その他主催者等に対する技術支援		
(4)事業を通じた創造活動・文化振興の支援		
① 子どもが芸術文化に親しみ感性を育む取組	B	・取組の努力はみえるが、まだ努力の余地は残っていると思うので、更なる展開を望む。
② 高齢者や障がい者が利用しやすい取組		
③ 芸術家や舞台芸術等の創作活動を支援する取組の状況		
④ 地域の文化活動との連携・支援		
(5)県民の視点にたった運営		
① 県民文化ホールの活動や芸術文化についての情報提供	B	・課題として、県民参加の活動への今後の取り組みを期待する。
② 県民参加の活動		
③ 県内の文化施設との連携		
3 効率的な運営とサービスの向上が図れたか	B	◆少ない人数でよく運営しており、努力を評価する。
(1)経営努力		
① 収入増加の取組	B	・収入増加や経費縮減の取り組みが、ともに効果をあげている。
② 経費縮減の取組		
(2)サービス向上への取組		
① 自己点検・評価の状況	B	
② 事故、クレームへの対応		
③ 職員の専門性の向上		
④ その他のサービス改善事項		
(3)社会的責務		
① 法令・規定等の遵守	B	
4 施設及び設備の管理は適正に行えたか	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆管理は一定の水準に達している。 ◆職員が工夫し、大規模改修前にメンテナンス出費をできるだけ抑制するとともに、老朽化した建物設備等の効率的な管理に努めている。 ◆安心して利用できる施設として評価できる。職員の向上心と実績、技術の蓄積を評価したい。
(1)建物や設備の管理状況		
① 点検・修繕の実績	B	
② 第三者への業務委託の状況		
(2)危機管理		
(風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策、マニュアル作成や職員研修など)	B	
総合評価	〔評価委員の意見〕	
B	<ul style="list-style-type: none"> ◆県内随一のホールとして舞台文化をリードしている。 ◆施設の老朽化を補う努力を評価したい。 ◆同規模ホールの料金と比較して、グリーンホールの利用料金の見直しの検討が必要。より使い易く、県民に愛されるホール運営を望む。引き続き、次世代育成にも努めていただきたい。 ◆立地条件は良いが駐車場がないために、必ずしも使い易く、利用しやすい施設ではない。その中で職員が運営に努力している。 ◆周辺駐車場との契約(割引サービス)など、利用者の駐車場の確保の検討をしてほしい。 ◆可能な範囲で、又、限られた人員、財政の中での努力を評価し、尚一層の向上を期待したい。 	

※評価の段階の目安

- 「A」 計画や目標を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた
- 「B」 概ね計画や目標どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた
- 「C」 計画や目標に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえず、大いに改善を要する